

ケアマネ通信おびひろ

第29号

平成 22 年 9 月 27 日発行
帯広市介護支援専門員連絡協議会
発行責任：濱 功之

【目次】

- 1、日本介護支援専門員協会・平成 22 年度北海道ブロック研修会のご案内
- 2、研修レポート①（養護老人ホーム信楽苑 西田 晃子）（グループホームたんぼぼ 津島 直子）
- 3、研修レポート②（特別養護老人ホーム愛仁園 蜷川 弘）（居宅支援事業所はるか 日向寺 好美）
- 4、ケアマネの輪（シグナル帯広居宅介護ステーション 石原 岳）
- 5、平成 22 年度交流会のご案内
- 6、癒しのオフタイム（居宅介護支援事業所 浅野 健太郎）



日本介護支援専門員協会

平成 22 年度北海道ブロック研修会 in 帯広

この度、日本介護支援専門員協会北海道ブロック研修会を下記の日程で開催いたします。介護報酬に医療連携加算や退院退所加算、診療報酬に介護支援連携指導料が新設されるなど、「医療と介護の連携」がますます重視されるなか、各地で連携の取り組みがすすんでいます。

本研修会は「地域連携」をキーワードに「医療と介護の切れ目のない連携」の実践を学び交流し、日々の介護支援に役立つよう企画いたしました。

- 日時：平成22年10月23日(土) 14:00～17:30（受付13:30～）
- 会場：道新ホール（帯広市西4条南9丁目1番地北海道新聞帯広支社2F）
- 講演：「医療と介護の多職種連携をめざして～ がん在宅医療の現場から」

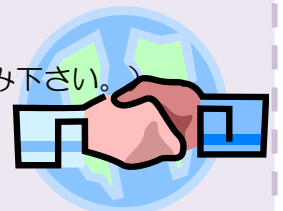
<講師> 社会医療法人北斗・北斗クリニック院長 山下浩介先生

- シンポジウム：「医療・介護の地域連携」

釧路、網走、北見、帯広から地域連携・多職種連携の実践報告

※研修会終了後、懇親会を開催いたします。あわせてご参加ください（会費4000円程度）※

- 参加費：会員無料（日本協会、北海道協会、帯広連協会員）・非会員1,000円
- 定員：120名（申込順で定員に達した時点で締め切ります。お早めにお申し込み下さい。）
- 主催：日本介護支援専門員協会、北海道介護支援専門員協会
- 主管：帯広市介護支援専門員連絡協議会（事務局：TEL 0155-21-3292）



●●研修レポート①●●

「ケアマネジメントから考える『豊かな暮らし』づくり」

7月10日グリーンプラザ大集会室にて行われた、平成22年度第1回研修会に参加しました。今回は「ケアマネジメントから考える『豊かな暮らし』づくり」をテーマに、特別養護老人ホーム緑風園・菊地雅洋施設長より講義を受けています。

講義内容はいずれも興味深いものばかりでしたが、その中で特に印象的だったものについて挙げていきたいと思います。

講演①「施設ケアマネジャーの業務と役割から考えるポジティブプラン」では、自立（自律）という言葉の持つ意味についての説明の中で、緑風園での看取り介護の話がありました。いつも誰かが傍にいてくれるという無条件の安心感の中で最期まで自律ある生活を営むことが出来た事例は大変印象的でした。知らないうちに「自立」という言葉に惑わされ、人に頼る、委ねるという選択権を持つことの素晴らしさ、「自律」という概念を忘れていなかったかと、反省をしてしまいました。

講義②「生活の場で求められるサービスを考える～チームケアで介護の常識を考えよう～」では、高齢者が続けられる自立支援として、無理なく自然に続けることが出来ること（生活行為に結び付けること）が大切であり、頑張らないと生きていけないことは人の生活とは言えないという話を聞き、自分の身に置き換えた時に、「確かに・・・」と、深く頷いてしまいました（飽きっぽい私は、関心のあることしか続けられないので…）。

また介護現場における「割れ窓理論」、言葉のもつ意味については、最も身近にあるコミュニケーションツール（言葉）だけに悪意がないままに広がる負の連鎖反応の恐さを感じました。

今回の講義内容にいずれも特別なことを新たにではなく、普段行っていることを別の視点で見ていくことの大切さを感じました。所々ユーモアも交えた講義で、3時間半という長い時間を全く感じさせない、菊地施設長の話術にもあっぱれでした。今回学んだことを、是非活かしていきたいと思いました。

養護老人ホーム帯広信楽苑

西田 晃恵



私は、初めて菊地先生の講演を聴かせて頂きました。

第一部は、ケアプランについての講演で、とても解りやすく、自分がケアプランを作成するにあたってすり合わせ作業を怠る・または、利用者側か支援者側のどちらかのニーズに偏っていたと思います。

第二部は、リハビリは一生必要かという文があり、私は以前勤務していた所で、90代の女性入居者の方がリハビリとしてエアロバイクを行っている姿を見たことがあります。

私達の年齢でも、エアロバイクは辛いと感じるのに、高齢になってもリハビリをしなくては行けないのだろうかという疑問に感じた事を思い出しました。

先生も話されていましたが、特別な事をしなくてもいい、生活の中で機能を活用し維持する事が自立支援であり、真のリハビリだという事を教えて頂きました。

自分の介護を振り返ってみて、すぐに手を出してしまったりして生活行為を妨げる介助になっていたり、自立支援という意味をはき違えていました。

介護に向く性格という所で、学生の頃は、他の学生の明るさや人見知りのしない所が羨ましく、なぜ自分が介護という、人と接する職業を選んだのか悩んだ時期もありました。

それは、私だけではなく、勤める先に必ずいました。先生の話聴き、自信を持った方もたくさんいると思います。

最後に、私の職場で研修のお知らせをし、参加する人は少ないだろうと思っていました。ところが、6名参加し、研修を終えた時は「すごく聴きやすかった」、「すごく勉強になった」、「介護支援専門員ではないけど、ケアプランを作りたくなった」、「私もここに帰ってきて良かったと言われる様な介護がしたい」などと様々な感想がありました。

私も、多くの同僚に聴いて欲しいと思っていたので、自分を含めてなのですが職員の意識が変わればと思っています。今まで、介護の世界に十年はいるはずなのに、菊地先生の存在を知りませんでした・・・本当に、素晴らしい研修でした。

グループホームたんぽぽ

津島 直子

●●研修レポート②●●

「帯ケアマネ連協・第1回研修会「事例検討会」に出席して」

大変変わった検討会でした。事例に対して担当ケアマネが何に困っているのかを明確にしてあったので、課題や目標が見え、それを達成するために不足しているものは何かをグループで探していくことがスムーズに出来ていたと思います。ただ、プランに落とすまでの作業を求めるのならば、事例のプランを資料として提出してもいいと思いました。

今回の事例にも、私の作っているプランにも共通して言えることは、生活歴を反映させることの大切さとそれを情報として把握し、そこから見えてくるご本人の意向を理解できるようにしていく事が大切であると実感しました。その点を反省として今後のプラン作成に活かしたいと思います。

特別養護老人ホーム愛仁園

蜷川 弘



帯広市ケアマネ連協役員の皆様、いつもお忙しい中の運営準備等ありがとうございます。常日頃からケアマネとして自信がなく、経験年数は増えて行くのに、この実力でケアマネを続けてよいのか思い悩んでいるところに、今回の事例検討会の案内。人前で意見を言うのは苦手だけれど逃げてばかりもいられないと参加することにしました。

私の班の事例は素晴らしくて、資料を持って帰って再度ゆっくり見たかったのですが、そういうわけにもいかず残念でした。検討会も質問や意見がどんどん出て、忘れかかっていたことも再確認することができたので、やっぱり出席して良かったと思いました。

これからもなるべく時間を合わせて出席し学ばせていただきます。ありがとうございました。

帯広けいせい苑 居宅介護支援事業所はるか

日向寺 好美

ケアマネの輪・和・話

シグナル帯広居宅介護ステーション 石原 岳

皆さん、こんにちは！今年の2月からシグナル帯広居宅介護ステーションでケアマネジャーとして勤務しております、石原岳です。一文字で「たかし」と読みます。丘（おか）よりも山よりも「高し → たかし」という立派な由来があると親から聞かされております（笑）ケアマネの仕事始めてからあっという間に7ヶ月が経ち、その中身を振り返ってみると自分の力量不足を痛感し、「反省」という言葉しか思い浮かばないような毎日でしたが、シグナル帯広の先輩ケアマネはもちろんのこと、他事業所の先輩ケアマネ達からも助言をいただき、自分は多くの人の支えがあって成り立っているんだとあらためて実感しております。これからも関わる方々への感謝の気持ちを忘れずにケアマネとしてレベルアップしていきたいと思えます。

また、自分を支えてくれる存在として娘（1歳7ヶ月）の存在が大きいので、写真付きで紹介したいと思います。皆さん親バカに付き合ってください（笑）事業所の2Fに託児ルームがあり、毎朝、車中で娘の泣き声や叫び声を聞きながら出勤できるなんて幸せだなあと感じるとともに「父ちゃん、みんなのために頑張るぞー！」と気合が入ります。外勤から戻ってくると2Fの窓から「これなあに」と娘の声が聞こえると、「我が子ながらお話しが上手だなあ」なんて思いながらニヤニヤし、癒し効果で日頃の疲れを吹き飛ばしてくれます。最後に、これからも皆さんから多くのことを学ばせていただきたいと思いますので宜しくお願いします。



平成22年度・The交流会!

◆ケアマネ連協・交流会のご案内◆

ケアマネ連協の皆様、今年もこの季節がやってまいりました! 昨年度の交流会で大絶賛であった企画『スリッパピンポン大会』を今年も実施いたします!! 老若男女を問わない、このスリッパピンポン。適度な疲れと緊張感が癖になりそう♪

今年度入会された方、これまでなかなか都合のつかなかった会員の皆様、ぜひ! この機会に親睦を深めてみませんか?

10月中旬に改めてご案内を致します。



(↑写真は昨年大会のものです)

～熱闘! スリッパピンポン大会!～

日時: 平成22年11月26日 18:45～

場所: 帯広市グリーンプラザ

費用: 大会参加費・無料(スリッパ持参)

豪華賞品・参加賞あり

～夜の部・懇親会～

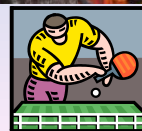
日時: 平成22年11月26日 20:15～

場所: ときわ(帯広市西8条南17-3-1)

費用: 3,000円前後



このYASUDA様に勝てるかな?
君の挑戦を待っているぜ!
噂では至心寮のスリッパが最強らしいが、今年は俺自身が最強であることを証明するぜ!



たくさんのご参加、お待ちしております!

癒しのオフタイム (*・v・)!!!!

居宅介護支援事業所白樺

浅野 健太郎

4月から新任ケアマネの自分にとって、日々の業務は毎日勉強になるし面白さも感じています。しかし、そうは言ってもストレスもしっかりたまってしまいます。そういう時にストレス発散にやることは「ドライブ」と「温泉」、これに尽きます。じじくさい趣味だと思われる方もいらっしゃると思いますが、私にとっては最高の気分転換です。

私は道外出身なので、北海道（特に東部）の広大な景色と自然は12年経った今でも新鮮な感動があります。好きな音楽をかけながら運転していると、ストレスも吹き飛びますね。一番走ったのは釧路湿原から野付半島、開陽台から裏摩周に寄って帰ってきたことがあります。12時間くらい運転してました。僕が育った九州でも、「やまなみハイウェイ」という景色のきれいな所があります。九州に行く機会があったらぜひお寄りください。湯布院温泉や黒川温泉から行けない距離ではありませんので。

北海道の温泉の泉質の豊富さやとんでもないワイルドさは魅力です。道東では阿寒、川湯、雌阿寒、糠平、置戸、芽登、養老牛、トムラウシそしてもちろん十勝川などいいところがたくさんありますよね。岩間温泉などは熊よけ無しには行けないような超ワイルドさが楽しかったです。興味のある方はネットで紹介されていますのでどうぞ。

地元にいるとすばらしいものに慣れてしまっていると思いますが、改めて見ると良いものがたくさんあると思います。楽しまないのはもったいないですよ。



↑ 開陽台



↑ 岩間温泉



↑ 足寄?



↑ 清水パノラマ

(撮影：浅野健太郎)

【介護支援専門員連絡協議会からのお願い】

- ★連絡先や勤務先が変わったり、苗字が変更になった場合HPにある「入退会・変更届出書」の書式を活用して速やかに届け出てください。
- ★メールアドレスの登録について、各事業所や会員へのメール配信については、今後それぞれの希望を確認した上での対応とさせていただきますので、メールアドレスの登録についてのご協力をお願い致します。
- ★新規入会は随時受け付けています。
入会申込書はホームページから入手できますので詳細については事務局にお問い合わせ下さい。
(事務局 帯広市社会福祉協議会 藤原)

＝ 編集後記 ＝

皆様、こんにちは、編集長の「えっち」です。先日、自宅のパソコンを新しくしました。思えば、初めてパソコンを購入したのが平成12年。当時ワードやエクセルを夢中になって覚えました。エクセルを覚えていくときは時間がいくらあっても足りないくらい楽しかったです。

そして、インターネットに初挑戦。調べたいことがあっという間に検索できる！なんて便利なんだ！と心から感動しました。そして、インターネットの醍醐味、いざ、大人のサイトへ・・・
ㄉ・∴・(∇°)・∴・- ッ!!「また一步、大人になったなあ」と感慨ひとしおでした。

最新パソコンは、娘が配線コードを舐め回す可能性があるため無線LANにしました。機械の進歩も凄いです。こどもの成長も早いと思う今日この頃です。
編集長えっち